



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月9日

上場会社名 デリカフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3392 URL <http://www.delica.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)館本 勲武
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画部長 (氏名)田井中 俊行 TEL 03-3858-1037
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,704	2.5	41	△57.6	35	△62.0	16	△69.2
22年3月期第1四半期	4,589	△6.8	97	△11.4	92	△12.6	52	△15.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	1,102.43	1,095.94
22年3月期第1四半期	3,583.46	3,562.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	9,132	3,990	43.7	272,497.87
22年3月期	9,151	4,051	44.3	276,668.28

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 3,990百万円 22年3月期 4,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	6.8	230	△6.6	210	△10.2	114	△15.4	7,784.23
通期	20,000	8.0	490	2.8	475	4.8	268	11.2	18,299.76

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無



4. その他（詳細は【添付資料】P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	15,605株	22年3月期	15,605株
----------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	960株	22年3月期	960株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	14,645株	22年3月期1Q	14,645株
----------	---------	----------	---------

(注意事項)

※ 四半期レビュー手続の実施状況の表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。



○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 最近における四半期毎の業績推移	10
(2) 部門別の状況	11



1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、海外経済の緩やかな回復を背景に国内経済の持ち直しが期待されるものの、雇用不安や所得減少の懸念は払拭されておらず、外食に対する消費の回復も当面期待できないため、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、「新工場稼働に伴う売上拡大の実現」「営業力の強化」「計画的な仕入の実現」を中心に各種経営施策を進めております。

「新工場稼働に伴う売上拡大の実現」としては、本年6月からの新工場の稼働開始に伴ない、「センター化構想によるホール野菜の販売増」「衛生設備の強化によるCVS、給食、医療施設分野へのカット野菜の販路拡大」を実践し、順調に売上高の拡大が実現しております。「営業力の強化」としては、「顧客満足度アップへの取り組み」「提案型営業の強化」「売れる商品の発掘と仕入」を引き続き行っております。「計画的な仕入の実現」としては、「契約産地の再開発・拡大」「市場との連携・提携による、産地からの物流・商流再編成」「デリカスコアの本格導入（野菜の力を数値化した、当社グループ独自基準）」を強力に推進しております。

その結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高拡大に向けグループ全体が一丸となり新規顧客獲得、深耕営業に取り組んだことを受けて、売上高は4,704,786千円と前年同期に比べ2.5%増加しました。経営環境が厳しいなか、4月から6月の3ヵ月間で115,465千円の売上高を増加させることができました。

一方、東京デリカフーズ株式会社の新工場開業に伴う費用として約50,000千円（消耗品費、外注費、物流費）を費用計上した結果、営業利益は41,203千円（前年同期比57.6%減）、経常利益は35,010千円（同62.0%減）、四半期純利益16,145千円（同69.2%減）にとどまり、前年同期を下回る結果となりました。しかし、今後は作業の効率化を進めることによって利益率の向上に努めてまいります。

部門別の売上高の概況は次のとおりであります。

新規顧客獲得と重点取引先の深耕営業を継続して行ない、カット野菜部門、ホール野菜部門の取引金額を増加することができました。その結果、カット野菜部門売上高は1,548,928千円（前年同期比6.3%増）、ホール野菜部門売上高は2,564,662千円（前年同期比3.4%増）、その他部門売上高は591,195千円（前年同期比9.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.1%減少し、4,120百万円となりました。これは、主として現金及び預金が787百万円減少したこと、一方、未収入金が444百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.4%増加し、5,011百万円となりました。これは、主として東京デリカフーズ株式会社の新工場建設により、建物及び構築物が476百万円、機械装置及び運搬具が113百万円増加したこと、一方、建設仮勘定が266百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、9,132百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、2,448百万円となりました。これは、主として短期借入金100百万円、未払金が37百万円増加したこと、一方、賞与引当金が53百万円、未払法人税等が41百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、2,692百万円となりました。これは主として資産除去債務が5百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、5,141百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、3,990百万円となりました。これは、主として利益剰余金が57百万円減少したことなどによります。



(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、売上高、利益共に概ね計画通り推移しておりますので、平成22年5月10日発表の通期の業績予想に変更はありません。



2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末に貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益が5,731千円減少しております。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,661,435	2,448,830
売掛金	1,810,106	1,846,527
商品及び製品	50,906	46,039
仕掛品	1,123	1,345
原材料及び貯蔵品	24,620	19,229
その他	580,752	132,836
貸倒引当金	△8,544	△9,550
流動資産合計	4,120,399	4,485,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,653,763	1,177,128
土地	2,534,861	2,534,861
その他(純額)	442,111	575,232
有形固定資産合計	4,630,736	4,287,222
無形固定資産		
その他	31,347	31,097
無形固定資産合計	31,347	31,097
投資その他の資産		
その他	369,694	365,694
貸倒引当金	△19,990	△17,697
投資その他の資産合計	349,704	347,997
固定資産合計	5,011,787	4,666,317
資産合計	9,132,187	9,151,576



(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,032,080	1,056,629
短期借入金	483,334	383,068
1年内返済予定の長期借入金	249,908	235,412
未払法人税等	18,194	59,453
未払金	574,257	537,252
賞与引当金	—	53,936
工場閉鎖費用引当金	—	27,205
その他	90,684	61,549
流動負債合計	2,448,459	2,414,507
固定負債		
長期借入金	2,554,798	2,549,605
退職給付引当金	46,138	46,840
資産除去債務	5,731	—
その他	86,328	88,815
固定負債合計	2,692,996	2,685,261
負債合計	5,141,455	5,099,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,755	759,755
資本剰余金	1,591,242	1,591,242
利益剰余金	1,825,529	1,882,609
自己株式	△174,508	△174,508
株主資本合計	4,002,019	4,059,099
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,288	△7,292
評価・換算差額等合計	△11,288	△7,292
純資産合計	3,990,731	4,051,806
負債純資産合計	9,132,187	9,151,576



(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,589,320	4,704,786
売上原価	3,414,054	3,560,320
売上総利益	1,175,266	1,144,465
販売費及び一般管理費	1,077,995	1,103,262
営業利益	97,270	41,203
営業外収益		
受取利息	592	315
受取配当金	649	872
自動販売機収入	417	—
業務受託手数料	1,870	1,947
その他	1,939	3,065
営業外収益合計	5,468	6,200
営業外費用		
支払利息	10,655	12,393
営業外費用合計	10,655	12,393
経常利益	92,083	35,010
特別利益		
固定資産売却益	—	39
補助金収入	—	452,455
特別利益合計	—	452,494
特別損失		
固定資産売却損	152	—
固定資産除却損	59	—
固定資産圧縮損	—	452,364
役員弔慰金	2,000	—
工場閉鎖費用	—	1,870
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,731
特別損失合計	2,211	459,966
税金等調整前四半期純利益	89,871	27,538
法人税、住民税及び事業税	37,392	11,393
法人税等合計	37,392	11,393
少数株主損益調整前四半期純利益	—	16,145
四半期純利益	52,479	16,145



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	89,871	27,538
減価償却費	45,113	50,805
引当金の増減額 (△は減少)	△33,479	△80,556
受取利息及び受取配当金	△1,241	△1,188
支払利息	10,655	12,393
固定資産売却損益 (△は益)	152	△39
固定資産除却損	59	—
固定資産圧縮損	—	452,364
工場閉鎖費用	—	1,870
売上債権の増減額 (△は増加)	115,355	34,128
補助金収入	—	△452,455
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,461	△10,036
仕入債務の増減額 (△は減少)	△117,456	△24,549
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,731
その他	17,500	64,245
小計	128,991	80,253
利息及び配当金の受取額	1,083	1,034
補助金の受取額	—	4,340
利息の支払額	△10,852	△12,697
法人税等の支払額	△106,865	△37,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,357	35,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,151	△21,337
定期預金の払戻による収入	42,000	60,914
有形固定資産の取得による支出	△23,471	△868,970
有形固定資産の売却による収入	13	3,958
無形固定資産の取得による支出	△1,980	△2,632
投資有価証券の取得による支出	△1,498	△1,620
貸付けによる支出	△10,000	—
貸付金の回収による収入	6,084	—
その他	△3,679	△3,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,683	△833,478
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,729	100,266
長期借入れによる収入	105,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△53,418	△60,311
リース債務の返済による支出	△7,286	△7,231
配当金の支払額	△62,125	△62,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,100	49,876
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,426	△747,818
現金及び現金同等物の期首残高	1,350,284	1,844,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,337,857	1,096,365



(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。



4. 補足情報

(1) 最近における四半期毎の業績推移

平成23年3月期（連結）

（百万円未満切り捨て）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,704			
売上総利益	1,144			
営業利益	41			
経常利益	35			
税金等調整前四半期純利益	27			
四半期純利益	16			
1株当たり四半期純利益	1,102.43			
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	1,095.94			
総資産	9,132			
純資産	3,990			
1株当たり純資産	272,497.87			
営業活動による キャッシュ・フロー	35			
投資活動による キャッシュ・フロー	△833			
財務活動による キャッシュ・フロー	49			
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,096			

平成22年3月期（連結）

（百万円未満切り捨て）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,589	4,770	4,667	4,488
売上総利益	1,175	1,248	1,261	1,139
営業利益	97	148	177	53
経常利益	92	141	171	47
税金等調整前四半期純利益	89	141	153	20
四半期純利益	52	82	88	17
1株当たり四半期純利益	3,583.46円	5,623.01円	6,066.25円	1,183.03
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	3,562.05円	5,580.02円	6,037.50円	1,176.58
総資産	8,224	8,353	8,940	9,151
純資産	3,866	3,947	4,032	4,051
1株当たり純資産	264,020.18円	269,513.39円	275,379.84円	276,668.28
営業活動による キャッシュ・フロー	12	123	71	158
投資活動による キャッシュ・フロー	△22	△31	△91	△206
財務活動による キャッシュ・フロー	△2	△117	144	455
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,337	1,313	1,437	1,844



(2) 部門別の状況

	平成22年3月期 第1四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		平成23年3月期 第1四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		比較増減 (千円)	比較増減 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
カット野菜部門						
売上高	1,456,558	31.7	1,548,928	32.9	92,369	6.3
仕入高	657,811	22.1	731,608	23.6	73,797	11.2
ホール野菜部門						
売上高	2,480,240	54.0	2,564,662	54.5	84,421	3.4
仕入高	1,750,695	58.9	1,853,767	59.8	103,071	5.9
その他部門						
売上高	652,521	14.2	591,195	12.6	△ 61,325	△9.4
仕入高	563,001	18.9	513,080	16.6	△ 49,920	△8.9
合 計						
売上高	4,589,320	100.0	4,704,786	100.0	115,465	2.5
仕入高	2,971,507	100.0	3,098,456	100.0	126,949	4.3